

# 春夏秋冬中 (あきないちゅう)

所要時間: 10~20分 プレイ人数: 3~4人  
ゲームデザイン: 折口 日向 イラスト: 午前 グラフィック: Hi



いたずら好きの神様が季節の名物を隠してしまいました。  
質問をしながら、隠されたものが何なのか、当てましょう!

## 内容物

カード18枚 梅雨カードと正月カード以外はカードの左上に季節と数字が書いてあります。



サイコロ...5個 (得点を表すのに使用します) ・説明書...1冊 (あなたが今読んでいるものです!)

## 概要・ゲームの流れ

1枚 (または2枚) のカードを机の中央に裏向きに置きます。残りのカードを各プレイヤーに配ります。順番に手番を行い、手番で質問をすることによって情報を得て、その伏せられたカードを推理します。分かったと思ったらチャレンジし、伏せられたカードの季節と数字を当てることができると、点数を獲得することができます。ここまでの流れを1ラウンドとします。数ラウンドを繰り返し、既定の得点に達したプレイヤーが勝者となります。

## ゲームの準備

### ・4人プレイの場合

正月カードは使用しませんので、箱の中に戻します。  
まず、梅雨カードを除いた16枚を裏向きによく混ぜ、その中から1枚を裏向きのまま机の中央に置きます。残った15枚に梅雨カードを裏向きに加えて、再度よく混ぜます。その後、各プレイヤーに4枚ずつ配ります。配られたカードが各プレイヤーの手札となります。手札の内容を他のプレイヤーに見せてはいけません。机中央に裏向きに置いたカード1枚の上にサイコロを1個、目を3にして置きます。

### ・3人プレイの場合

正月カードは使用しませんので、箱に戻します。  
まず、梅雨カードを除いた16枚を裏向きによく混ぜ、その中から2枚を裏向きのまま机の中央に置きます。残った14枚のカードに梅雨カードを裏向きに加えて再度よく混ぜます。その後、各プレイヤーに5枚ずつ配ります。配られたカードが各プレイヤーの手札となります。手札の内容を他のプレイヤーに見せてはいけません。机中央に裏向きに置いたカード2枚の近くにサイコロを1個、目を3にして置きます。

### ・3人プレイ、4人プレイ共通

各プレイヤーにサイコロを1個ずつ配ります。各プレイヤーはサイコロの目を1にして自分の前に置いてください。サイコロの目はプレイヤーの点数を表します。  
ラウンドの開始前に、プレイヤーは、配られた手札の中に1つの季節のカードが全て揃っている場合 (春の1、1、2、3等)、カードの配り直しを要求することができます。  
その場合、手札を公開し、裏向きにしたカードを含め、全てのカードを配り直します。

## 手番の流れ

スタートプレイヤーから時計回りの順番に手番を行っていきます。スタートプレイヤーは1番季節の変わり目に敏感な人です。もしくはジャンケンなど適当な方法で決めてください。  
手番では次の2つのうち、どちらか1つを行います。▶ 1. 質問する 2. チャレンジする

### 1. 質問する

他のプレイヤー1人を選び、その人に質問します。質問できる内容は、下記の2つのうちのどちらかです。

- ・そのプレイヤーの持っている、ある数字 (1~3) のカードの「枚数」の合計
- ・そのプレイヤーの持っている、ある季節 (春、夏、秋、冬) のカードの「数字」の合計

例) あなたの持っている2のカードの枚数は何枚ですか?

質問された人が夏の2と秋の2と冬の2を持っているのであれば、「2のカードの枚数は3枚です」と答えます。

例) あなたの持っている春のカードの数字の合計は?

質問された人が春の1と3を持っているならば、「春の数字の合計は4です」と答えます。

【重要】季節の数字の合計を質問する場合、自分の手札を1枚裏向きに自分の前に置き、公開しなければいけません。そのカードは現在のラウンドが終わるまで公開され続けます。  
ただし、各プレイヤーは、ラウンド開始時の1番最初の手番のみ、手札を公開することなく季節の合計を質問できます。公開しているカードがあるときに、そのカードを含め質問をされた場合には、そのカードを含めて答えてください。

例) 秋の1を公開していて、秋の2を手札に持っているプレイヤーが秋の数字の合計を質問された場合は、「秋の数字の合計は3です」と答えます。

**【注意】 質問の内容等を、メモすることは禁止です。全て覚えてください。**

## 2. チャレンジする

机の中央で裏向きに置かれているカードを当てるための宣言を行います。

裏向きになっているカードの季節と数字を宣言します。3人プレイの場合は2枚とも宣言します。

例) 今回裏向きになっているカードは「夏の2」と「秋の3」です。

裏向きになっているカードを他のプレイヤーに見せないように、自分だけ確認します。

裏向きになっているカードが宣言したとりのカードならば、そのまま表向きにして、上に乗っていたサイコロの目と同じ点数を獲得します。得点した分だけサイコロの目を増やしてください。

得点后、ラウンドは終了します。

3人プレイの場合は2枚とも完全に当てなければいけません。

宣言したカードでないならば、そのまま誰にも見せずに裏向きにして机の中央に戻します。

そしてカードの上に乗っていたサイコロの目を1つ小さくします。

そのまま次のプレイヤーに手番は移り、ラウンドは続きますが、チャレンジに失敗したプレイヤーの手番は飛ばされます。ただし、質問されたら答えなければいけません。

1人のプレイヤーを残して、他のプレイヤー全員がチャレンジに失敗した場合、残ったプレイヤーは1点を獲得し、ラウンドは終了します。得点した分だけサイコロの目を増やしてください。

(4人プレイ時には2人のプレイヤーが間違えた段階で、裏向きカードに乗っているサイコロの目は1になります。3人目が間違えた場合も、サイコロを取り除いたりすることはなく、最後のプレイヤーが1点を獲得します)

## 梅雨カードについて

梅雨カードは数字を持たず、4つの季節にも属していないので、直接的な質問によって見つけることはありません(他のカードを全て当てることで絞り込むことはできます)。また、机の中央で裏向きにして置かれることはありません。

このカードを持っているプレイヤーは、常にサイコロの目よりも1点多く得点します(チャレンジに成功した場合・最後まで残って1点もらう場合に関わらず)。

また、このカードも他のカードと同様に、季節の合計を質問する際に公開することができます。1点多く得点する効果は、梅雨カードを公開していてもいなくても関係なく発動します。

## 次ラウンドの準備・ゲームの終了条件

ラウンド終了時に、6点以上の点数を獲得していたプレイヤーがいた場合、そのプレイヤーが勝者となります。

いない場合は次のラウンドを行います。「ゲームの準備」に戻りカードを配り直してください。ただし、各プレイヤーの得点だけは引き継ぎます。次ラウンドのスタートプレイヤーは、今回得点を獲得したプレイヤーの左隣のプレイヤーです。

## 戦略のヒント

季節の合計を質問する方が、効果的に情報を得ることができますが、手札を公開するというリスクがあります。

季節の質問と数字の質問を上手く織り交ぜながら質問していくのが良いでしょう。

また、自分の質問が他のプレイヤーにも聞かれていることを忘れてください。

## 難易度を調節するバリエーションルール

基本のルールで難しすぎると感じるのであれば、下記のルールを選択して採用すると良いでしょう。

- ・メモをとつても良い。
  - ・1度質問したのだけど、忘れてしまったことを手番でないときに確認させてもらう。
  - ・3人プレイの際に、中央に伏せるカードを1枚だけに(梅雨カードを使用せずにカードを配ってください)。
  - ・チャレンジして失敗したら、即座にそのプレイヤーの手札をランダムで1枚公開します。その後、そのプレイヤーに手番が回るごとに、そのプレイヤーの手札をランダムで1枚公開します。そのプレイヤーの手札が全て公開された後は、通常どおり手番が飛ばされます。失敗したプレイヤーの手札が全て公開される前に、失敗したプレイヤーに質問することは可能です。
- 逆に基本のルールで簡単過ぎると感じるのであれば、下記のルールを採用すると良いでしょう。

### ・4人プレイの場合

カードを配る際に春夏秋冬の16枚をよく切り、2枚を裏向きにして配置し、その後、梅雨カードと正月カードを加えて4枚ずつ配ります。

正月カードも梅雨カードと全く同じ効果を持ちます。

梅雨カードと正月カードの両方を持っていた場合、効果は重複します。

チャレンジする際には机中央のカードを2枚とも当てなければいけません。

### ・3人プレイの場合

カードを配る際に春夏秋冬の16枚をよく切り、3枚を裏向きにして配置し、その後、梅雨カードと正月カードを加えて5枚ずつ配ります。

チャレンジする際には机中央のカードを3枚とも当てなければいけません。

他は上記4人プレイの場合と同様です。